

計算条件: 最低水面(零位)
 隆起量: 平均 -0.17m(-0.45m ~ -0.04m)
 Zo: 0.40m ~ 0.85m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系: メルカトル図法
 測地系: 世界測地系 (WGS84)

凡例

最大水位低下

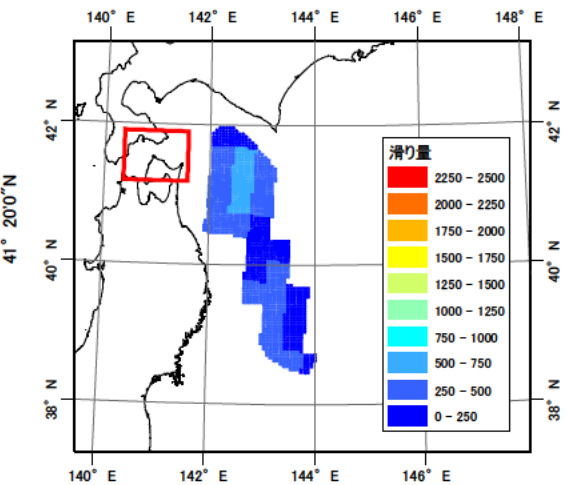
- 3~最大3.4m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域

引潮時最大流 [knot]

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断層モデル



三陸沖北部地震

| | |
|----------------|-----|
| モーメントマグニチュードMw | 8.4 |
|----------------|-----|

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ